



平野 武志 議員

いっぱん

問 高齢者向けイベント 本町地区での開催は

答 地域限定のイベントは考えていない ——— 町長



婦人会主催で、大いに盛り上がった昨年の釜谷地区敬老会

質 問 平成27年度は、第6次木古内町振興計画の2年目にあたり、より振興計画を順調に進めて行くための重要な年度になります。執行方針の細部についてお聞きします。

①福祉・医療・保健の中で、高齢者向けのイベントを本町地区で開催する考えがないのかお聞きします。

②産業・観光の中で、新年度は、ワカメ養殖施設の更新や地方創生交付金を活用したヒジキ養殖事業に取り組みますが、漁業者の現状や今後の推移予測はどうなっていますか。

③信頼される学校づくりの中で、教職員に対する資質の向上に対する取り組みや教育委員会と教職員との連携強化策をお聞きします。

大森町長 ①高齢者向けのイベントについては、全町の高齢者を対象としたはつらつ演芸会や老人クラブスポーツ大会等を開催しています。

新年度以降もこれらの事業を積極的に展開していくこととして

ており、地域限定のイベントは考えていません。

②漁業者の現状と推移予測について、ワカメの着業戸数は14戸（計画同数）、水揚げ高約28t（計画約34t）、販売額約390万円（計画約460万円）です。

また、ヒジキの着業戸数は18戸（計画同数）、水揚げ高約0.5t（計画約1.5t）、販売額約110万円（計画約440万円）となります。

野村教育長 ③教職員の資質向上の取り組みとして、学力向上を目的として東北地方の先進地に教職員2名を派遣する事業を実施します。

また、連携強化策については、各学校の授業・生徒指導改善に対する支援策として、教育指導主事の派遣や町教育研究所等との連携強化を図っていきます。

鶴岡地区観光整備計画
その後の進捗状況は

質 問 鶴岡地区の観光整備計画については、鉄道の保存要請にとどまっており、様々なアイデアや企画を受ける中で、観光協会と協議をしていくとの答弁でしたが、その後の進捗状況をお聞きします。

大森町長 鶴岡地区の観光整備については、観光協会より鉄道の保存と車輛展示の要請を受けています。鉄路についてはは利活用の方針により、どの程度保存していくかなどを含め、今後も協議を継続していきます。車両については、鉄路の運搬は不可能であり、陸送は相当の費用が掛かります。また、他の路線での運行が既に決まっており、売却可能な車両はないため、その旨を観光協会には伝えていきます。